

## 松尾倶楽部講演会に参加して

上原 昇（2組）

上田高校同窓生が中心で構成・運営されている団体、松尾倶楽部（近藤正昭代表幹事：69期）による講演会に初めて参加しました。

2月15日（土）の午後、神田駿河台の連合会館会議室にて、上智大学教授、前嶋和弘さん（1965年静岡県生まれ、上智大外国語学部英語学科卒、ジョージタウン大学修士、メリーランド大学博士）による講演は、「米大統領就任後の世界、そして日本」というタイムリーなものです。

前嶋さんは関東同窓会の矢島基美会長（72期）と上智大学で同僚だった関係もあり、矢島さんの頼みとあればと快く講師を引き受けてくれたと聞きました。当日は上田高校同窓生を中心に約40名の参加者で盛会となりました。（65期は筆者のみ）

トランプ政権の誕生もあり、昨年までアメリカ学会会長を務めていた前嶋さんはメディアに引っ張りだこのようで、講演前のTV収録が長引き、予定時間に少し遅れて登壇しました。前嶋さんはTVの解説などで立派な体格と大きな眼を良く見っていますが、本物？の話聞くのは初めてです。PC資料を使って1時間半、マシンガンのような迫力ある前嶋節の講演会となりました。

まず、1月20日に就任した第2次トランプ政権について、二つの大きな勘違いがあるのではと問題提起されました。

1は「トランプ大勝」と言われているが、得票率でハリスとの差は1.48ポイントで今世紀選挙において最も僅差であったこと。2は「上下両院とも共和党が多数派なので、トランプは何でもできる」というのも、下院の共和党と民主党の差は5議席で史上最も少ない差であり、巷間いわれているほど共和党、トランプが優位ではないと解説されていました。

次にトランプが矢継ぎ早に打ち出した「大統領令」については、議会を通さない張りぼての打ち上げ花火である。議会を通していないので、法的に微妙で予算が付かないことがあり、大統領権限では実現が難しいものが多いとのことでした。



しかし、これまでの常識を革命しようとするトランプ政権の行方は日本にとっても難しい対応が迫られることは間違いありません。SNSなどで流布されている情報に惑わされず、正しい情報を入手して判断することが重要だと感じた講演でした。

前嶋和弘さん

（2025年2月16日記）

以上